

※この資料は、県ホームページでも公開しています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/inasakugijyutujyouhou.html>

令和8年 稲作情報 vol.1



南会津農林事務所農業振興普及部 Tel 0241-62-5262

南郷普及所 Tel 0241-72-2243

J A 会津よつば田島営農経済センター Tel 0241-63-1172

南郷営農経済センター Tel 0241-72-2554

<育苗・種子の準備>

1 塩水選（消毒済種子でも行いましょう）・種子消毒

- ・ 塩水選は、発芽能力の高い籾を選別するために行います。充実した重い籾は沈み、登熟不良籾や病害籾は浮きます。塩水選をしっかり行い、発芽揃いを良くし、健苗を育てましょう。

表1：比重液の濃度（水 10L あたり）

	比重	食塩の量	硫酸の量
うるち	1.13	2.1kg	2.7kg
もち	1.10	1.6kg	2.0kg

表2：種子消毒の例

テクリードC フロアブル	(200 倍液、24 時間浸漬) 浸漬後は水洗いせずに直ちに浸種する ※種子：処理液 = 1 : 1 以上
-----------------	---

2 浸種（酸素の欠乏に注意、十分に吸水させましょう）

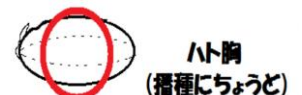
- ・ 水量は種子量の2倍以上、浸種水温は10～15℃とし、時間をかけて吸水させましょう。
- ・ 浸種時間は積算温度で100～120℃(浸漬水温×日数)を目安に行いましょう(休眠性が深いひとめぼれとコシヒカリは長めに)。
- ・ 酸素の欠乏を防止するため、浸種後3日目から定期的に水を交換しましょう。

種子は袋にぎっしり詰めすぎない
種子袋は平らに、水はたっぷり余裕をもって



3 催芽

- ・ 催芽温度は28℃にし、ハト胸状態（芽が1mm程度）の籾が70～80%程度になったら播種作業に移りましょう。
(30℃以上であると、もみ枯細菌病が発生しやすくなります。)
- ・ 育苗器内では種子の入ったもみ袋は薄く均一に広げます。



4 播種

- ・ 播種量に合わせた育苗を行いましょう。
- ・ 苗立枯病対策のために、適切な防除をしましょう。

表 3 : 播種量と生育目安

苗の種類	播種量 (乾粉 g/箱)	育苗日数 (日)	草丈 (cm)	葉齡 (葉)	箱数 (箱/10a)
高密度播種苗	250~300	15~20	10~15	2.0~2.3	7~14
稚苗	200	20~25	10~13	2.2~2.5	18~20
中苗	100	30~35	13~15	3.0~3.9	30~35

<高密度播種苗移植について>

・高密度播種苗は慣行苗より老化しやすく、2葉期を過ぎると葉齡の進展が遅くなり、草丈は伸長します。徒長した老化苗は、活着しにくくなるので、適期に移植しましょう。（育苗期間：15~20日）

表 4 : 苗立枯病の薬剤の例

薬剤名	対象病害	希釈倍数	使用方法	使用時期	散布液量
ナエファイン フロアブル	苗立枯病 (ピシウム菌・フザリウム 菌・リゾープス菌)	2000 倍	土壌灌注	は種時	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約 5L) 1箱あたり 0.5~1L
タチガレエース M 液剤	苗立枯病 (ピシウム菌・ フザリウム菌)	1000 倍	土壌灌注	は種時	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約 5L) 1箱あたり 1 L

5 出芽(出芽の温度管理に注意しましょう)

表 5 : 育苗時の温度管理について

育苗器	温度 28℃設定 2~3昼夜を目安とする。
ハウス内 無加温	ハウス内温度は 28℃ 苗ヤケ防止のため、28℃以下になるよう適 宜換気を行い、被覆日数は 5~7 日間を 目安とする。

<育苗ハウスの注意点>

※ハウス内は水平にしましょう。
※育苗箱は隙間無く置き、ハウスの端から
5~10cm 程度空けて置きましょう。

6 緑化

- ・ 出芽率 80~90%、芽の長さ 5~10mm を目安に緑化に移ります。
- ・ 緑化の際は日中 20~25℃、夜間 12~15℃で管理し、ハウス内の温度が 28℃を超えないよう管理しましょう。

~福島県農作業安全運動~ 【3/1~5/31】

春はトラクター等の利用が多くなります。ゆとりある作業を心がけましょう。

次回 施肥管理(基肥)等について
4月上旬発行予定